

二セ電話詐欺の被害が多発



不審な電話は
迷わず110番

高齢者が狙われています

平成26年1月～12月の県内における二セ電話詐欺の認知件数（警察に届けた数）は300件、被害総額は14億3,000万円でした。

特に高齢者を狙った二セ電話詐欺が多発していて、被害に遭ったのは60歳代～80歳代の方が約8割を占め、被害者の約7割は女性でした。

県内で多く発生している詐欺は、親族や警察官などを装う「オレオレ詐欺」、身に覚えのない料金の請求をされる「架空請求詐欺」です。そのほか、嘘の融資で保証金をだまし取る「融資保証金詐欺」、役所職員や銀行員を装う「還付金等詐欺」があります。

桜川市内でも、「オレオレ詐欺」や「架空請求詐欺」などの疑いがある事例が発生しています。

「自分だけは大丈夫」と思わず、日頃から被害に遭わないように気を付けましょう。

すぐにできる 二セ電話詐欺撃退



1 電話は留守番電話に設定する



電話を使う詐欺を撃退する一番の方法は、電話が鳴っても受話器を取らないことです。留守番電話に設定して相手を確認してから電話に出しましょう。

2 相手の話は聞かない

すぐに電話を切ることが大切です。話を聞いてしまうと相手の話術にはまってしまいます。

重要 この話が出たら、全て「詐欺」です!!

- 「すぐにお金が必要」「声が変わった」「必ず儲かる」
- 「レターパックでお金を送って」
- 「還付するからATMに行って」
- 「名前を名簿から削除する」
- 「パンフレットを高値で買い取る」
- 「コンビニでプリペイド型電子マネーを購入して番号を教えてください」

・値上がり確定
・必ず儲かる
・損失を取り戻す



3 はっきり断る

「どうしよう・・・」という迷いは、詐欺犯の思うつぼです。もうけ話や身に覚えのない要求は、はっきり断りましょう。

「お断りします」
「いりません」



一人で悩まずすぐ電話

相談先

- ・二セ電話詐欺相談ダイヤル（茨城県警察）（☎029-301-0074、24時間対応）
- ・桜川市消費生活センター（☎0296-75-6300）

被害防止 高齢者宅戸別訪問

2月7日、御領地区で、同地区の区長と各班長が中心となり、桜川警察署と桜川消費生活センターと合同で地区の高齢者宅を訪問。「二セ電話詐欺に気をつけてください」と、被害防止を呼びかけました。



高齢者宅を訪問し、被害防止を呼びかけました。